

アフリカで日本の経験を生かした保健医療サービスを実現

01



UHCの実現に向け、TICAD Vではアフリカ関係者と活発な議論が交わされた



JICAの支援で保健マネジメントの強化が進められているケニアの診療所(撮影:佐藤浩治)

6月1〜3日まで横浜で開催された「第5回アフリカ開発会議(TICAD V)」。そのサイドイベントの一つとして、JICAは「ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)」をテーマにしたセミナーを行いました。UHCとは、すべての人々が、必要な時に必要な保健医療サービスを費用を心配せずに受けられるシステムの実現を目指すものです。

近年、急速な成長を遂げるアフリカですが、一方で、貧富の差の拡大が問題になっています。過去10年間で妊産婦や5歳未満の子どもの死亡数は大幅に減ったものの、貧しい世帯にとって医療費の負担は大きく、まだまだ多くの人々に保健医療サービスが行き届いていない状況です。

セミナーの冒頭では、セネガルのコル・セック保健・社会大臣とガーナのニヨナター前保健サービス総裁が、自国の保健行政の地方分権化や新しいサービス提供モデルの推進、健康保険のカバー率向上など、UHC達成に向けた取り組みと課題を紹介。続いてナイロビ大学才保健課長の発表後、JICAの杉下智彦国際協力専門員が、保健行政に携

わる人材の質を向上させ、関連するシステムのマネジメント力を強化する必要性を発表しました。会場の参加者からは、「UHCに予防のためのサービスも含めるべき」、「サービスのカバー率向上とともに、質も上げる必要がある」、「ドナーではなくアフリカ諸国の政府自身で予算を確保すべき」といった意見が出されました。

同セミナーの総括として登壇したチヤン世界保健機関(WHO)事務局長、オシヨティメイン国連人口基金(UNFPA)事務局長、武見敬三参議院議員は、UHC達成のためには、各国の主体性はもちろん、その取り組みを側面から支援する開発援助の役割が重要であると指摘。さらに、国民皆保険制度の導入後、50年以上UHCを維持している日本の経験を活用していくべきだと強調しました。

最後に小淵優子財務副大臣は、「日本はアフリカ諸国や他の援助機関と協力してUHCを推進し、健康で安心して過ごせる豊かな社会づくりに貢献していく」と述べ、保健分野で低金利の円借款を適用し、積極的に支援を進めることを表明しました。

夏休みは国際協力についてエッセイを書こう!

02



「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト」は、次世代を担う全国の中学生・高校生を対象に、開発途上国の現状や日本との関係について理解を深め、国際社会の中で一人一人がどのように行動すべきかを考えてもらうことを目的としています。

身近な生活の中にもたくさんある世界とのつながり。学校の授業、友達との会話、地域での出会い、本や新聞、テレビを通して知ったこと、感じたことなど、自由な題材であなただの思いを伝えてみませんか。

募集テーマ:「世界と日本の幸せのために」私がしたいこと、すべきこと——

応募締め切り: 9月13日(金)当日消印有効

問い合わせ: 応募先: 〒102-0008 東京都千代田区一番町23-3 日本生命一番町ビル5階
(公社)青年海外協力協会内「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2013」係

TEL: 03-35556-5926
FAX: 03-6261-0259
Eメール: jica.essay@joca.or.jp

「世界の人びとのためのJICA基金」の活動を募集中!

03



JICA基金を活用した奨学金を受けているケニアのスラムの若者たち(写真提供: NPO法人アマニ・アフリカ)

ミレニアム開発目標(MDGs)の達成に向けて、一般の皆さまからの寄付を通じて、開発途上国の人々を支援する「世界の人びとのためのJICA基金」。現在、本基金を活用した途上国での活動を募集しています。皆さまからのご提案をお待ちしています。

募集期間: 7月11日(木)〜8月23日(金)必着

対象となる活動: 途上国・地域における貧困削減や人々の生活改善向上に直接的に貢献し得る現地での活動で、すでに実施中の活動をより充実・発展させる取り組み、またはその事業を他地域へ普及する取り組み。

支援金額: 1案件当たり100万円を上限。

選考方法: 書類選考後、運営委員会での審議で決定。

Eメール: taipac-kiugyomu@jica.go.jp
TEL: 0800-100-5931
(フリーコール/平日10時〜12時半、13時半〜17時)